

泌尿器科後期研修プログラム

I. 研修目的

後期臨床研修の目標を明らかにし、泌尿器科を希望する若手医師に無駄の無い研修を提供する。

II. 到達目標

(1) 診療、技術修得の目標

後期研修 1～2 年の間に上記 (1) ～ (6) を修得する。

(2) 手術手技の到達目標 (年間件数)

①研修 1～2 年目で執刀

- ・ 体外衝撃結石碎砕術 (50 例)
- ・ 包皮環状切除術 (5 例)
- ・ 精巣水腫根治術 (5 例)
- ・ 精管結紮術 (2 例)
- ・ 精巣摘除術 (3 例)
- ・ 膀胱部分切除 (2 例)
- ・ 内尿道切開 (2 例)
- ・ 経尿道的膀胱腫瘍切除術 (150 例)
- ・ 尿管切石術 (2 例)
- ・ 経尿道的尿路結石除去術 (35 例)

②研修 3 年目で執刀

- ・ 尿管皮膚瘻造設 (5 例)
- ・ 尿管尿管吻合 (3 例)
- ・ 尿管膀胱新吻合 (2 例)
- ・ 腎摘出術 (10 例)
- ・ 精巣固定術 (1 例)
- ・ 精索静脈瘤根治術 (5 例)
- ・ 経尿道的前立腺手術【レーザーを使用するものとレーザーを使用しないもの】(50 例)
- ・ 腎尿管全摘出術 (5 例)
- ・ 回腸導管造設術 (10 例)

③手術の助手をつとめる

- ・腎盂形成術（2例）
- ・腎部分切除（1例）
- ・膀胱全摘出術（10例）
- ・前立腺全摘出術（10例）
- ・経皮的腎砕石術（3例）
- ・回腸新膀胱造設術（1例）
- ・後腹膜リンパ節郭清術（5例）

④腹腔鏡手術認定医（部長、副部長）の指導下、手術の一部を実施する。

- ・腹腔鏡下副腎摘除術（5例）
- ・腹腔鏡下腎摘除術（20例）
- ・腹腔鏡下前立腺全摘術（20例）
- ・腹腔鏡下腎尿管全摘術（5例）

（3）処置の到達目標

いずれも研修2年目までに修得

- ・尿道ブジー
- ・膀胱瘻造設
- ・腎瘻造設
- ・尿管ステント留置

（4）研究活動の到達目標

研修期間中に学会発表（口演、ポスター発表）の準備、論文投稿が独自で行えるようになる。

Ⅲ. 週間スケジュール等

（1）週間スケジュール

毎日、外来、手術、検査、病棟業務のいずれかに従事し多忙であるため、冗長なミーティングは行っていない。一方、時間外勤務時間は、月平均40時間程であり、一日の就業時間は朝8時30分から夕方19時頃までと、余暇も十分にとることができる。また1ヶ月に1週間程の宅直業務があり、泌尿器科救急疾患の診断、治療法を修得する良い機会となっている。

毎 日：8時30分～8時45分 外来症例のレントゲンカンファレンス

毎週火曜日：7時45分～8時30分 手術カンファレンス

毎週木曜日：7時45分～8時30分 病棟カンファレンス

：18時00分～19時00分 問題症例のレントゲン・病理カンファレンス

毎週金曜日：14時30分～16時00分 部長回診

16時00分～17時00分 手術ビデオ検討会

(2) 年間スケジュール

1月：京大手術手技研究会参加

4月：日本泌尿器科学会総会参加

7月：京大EBM (Evidence Based Medicine) 研究会参加

10月：泌尿器科学会中部総会、日本泌尿器内視鏡学会、日本赤十字医学会、
日本癌治療学会参加

その他、年に4回日本泌尿器科学会地方会参加